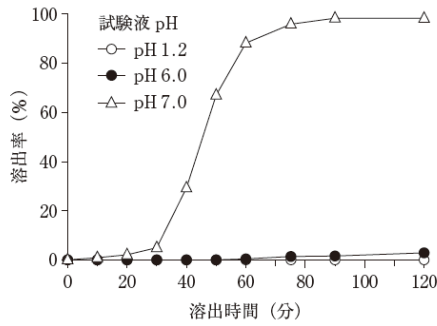

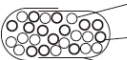





104-175

問題文

コーティングを施した固形製剤の溶出性を調べたところ、下図の結果が得られた。この薬物溶出を示す製剤として最も適切なのはどれか。1つ選べ。ただし、薬物の溶解度は試験液のpHに依存せず、薬物と添加剤の相互作用はないものとする。



- 1 
 - 薬物を含む即放性顆粒
 - 薬物を含み、ヒプロメロースフタル酸エステルをコーティングした顆粒
- 2 
 - 薬物を含む即放性顆粒
 - 薬物を含み、ヒプロメロースフタル酸エステルをコーティングした顆粒
 - ゼラチンカプセル
- 3 
 - 薬物を含む素錠
 - メタクリル酸コポリマーSのコーティング膜
- 4 
 - 薬物を含む素錠
 - ヒプロメロースのコーティング膜
- 5 
 - 薬物を含む内核
 - メタクリル酸コポリマーSのコーティング膜
 - 薬物を含む即放性外層

解答

3

解説

図から、pH が低いと、全く薬が溶けていないことがわかります。「腸溶性コーティング」を連想します。

選択肢 1 ですが
この製剤であれば、pH によらず即放性顆粒が溶けて血中濃度の上昇がある程度見られ

ると考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

ゼラチンは pH によらず溶けると考えられます。すると、選択肢 1 と同様に、pH によらず、即放性顆粒が溶けて血中濃度の上昇がある程度見られると考えられます。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

メタクリル酸コポリマーは、腸溶性コーティング剤として用いられます。ヒプロメロー スフタル酸エステルや、ヒプロメロー ス酢酸エステルコハク酸エステルと同様の用途で す。

選択肢 4 ですが

ヒプロメロー スは、水溶性コーティング剤に用いられます。このコーティングであれば、pH によらず溶けて、血中濃度の上昇がある程度見られると考えられます。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

外側の即放性外層が pH によらず溶けて、血中濃度の上昇がある程度見られると考えられます。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3 です。

類題

参考)